

## 令和3年度第1回予防接種協議会案件についての質疑等に対する回答

### ○岡原和弘 委員

#### 【令和3年度高齢者インフルエンザ事業について】

Q. 昨年度は高齢者のインフルエンザの自己負担金はなしでしたが、今年度は1,500円となっています。まだコロナウイルス感染拡大が続いています。今年度まで自己負担金免除にする必要があると思います。

A. 高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担金につきましては、昨年度(令和2年度)は、新型コロナウイルスとインフルエンザの併発による重症化予防等を目的として、大阪府において、自己負担の無償化施策が府下で広域的に実施されました。

今年度(令和3年度)については、高齢者の新型コロナワクチン接種が進んでいる状況を踏まえ、無償化施策を実施しない方針であることを確認しております。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

### ○橋 克英 委員

#### 【令和3年度高齢者インフルエンザ事業について】

Q 1. 今年度のインフルエンザワクチンの供給量の見通しはどうか。

A 1. 厚生労働省の「季節性インフルエンザワクチンの供給」に係る通知は現在のところ、発出されておられません。一部報道においては、今冬のインフルエンザワクチンの供給量が最大で約5,580万人分になるとの見通しを示しており、統計がある1996年以降、最大の使用量であった昨冬に比べると少ないが、例年の使用量に相当する量が供給されるとしております。また、新型コロナウイルスワクチンの生産など世界的に製造資材が入手しにくくなった影響で供給ペースは遅れる見通しで、12月上旬まで順次、継続的に供給される予定とされています。

Q 2. 堺市としてはワクチン接種者数は令和元年度程度と考えているか。

A 2. 報道においては、昨冬は全国で推定患者数約14,000人とほとんど流行せず、現在インフルエンザシーズンを迎えている豪州の流行は低い水準となっているとのことです。

今冬のインフルエンザワクチンの接種者数を予測することは大変難しい状況ではありますが、上記の流行予測を踏まえますと、令和元年度と同水準となるのではないかと考えられます。